

第706回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cテレビ

「新春お年玉 クイズ! エモいわて

～あの頃、みんなエモかった」

2026年1月28日(水)

(株) I B C 岩手放送

第706回IBC番組審議会

1. 開催日時 2026年1月28日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 9名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	郷右近 勤
	高橋 司
	菊地 文彦
	柴田 千春
	繁田 奈菜子
	龍澤 尚孝
	後藤 高宏 (レポート)

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
石垣 美和	報道制作部 副部長
及川 拓真	ディレクター

事務局

藤原 崇史	番組審議会事務局長
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議題

IBCテレビ 「新春お年玉 クイズ!エモいわて

～あの頃、みんなエモかった」

1月1日(木) 午後2時半～午後4時半 放送分

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- お笑いタレントなどに頼らず、自局のアナウンサーだけで2時間の生放送を飽きさせずに進行するのは難しいこと。普段ニュースを読んでいるアナウンサーが歌や仮装、人間ばなばなどなどに全力で挑む姿や、徹底して振り切った芸達者ぶりが、番組の価値や親しみやすさを生んでいた。

- 元日にいつものアナウンサーがいつもの場所から放送していることに「安心感」や「岩手の良さ」を感じた。世代を超えて家族で笑って楽しめる、お正月の団らんにふさわしい番組だった。

- クイズの結果がすぐに出て当選者が決まるという現代的な双方向性や、テンポの良い進行が視聴者を飽きさせない工夫として良かった。また、CMに入るタイミングで過去のアーカイブ映像を挟む演出も良かったが、もっと過去の映像を見たかった。

- エンタメ一辺倒ではなく、2026年新春の岩手の模様についても中継で都度紹介していて、バランスに配慮されていた。

- アーカイブ映像について「いつの年代のものか」というナレーションやテロップがやや不足していたように感じた。また、大船渡のサンマのギネス記録など、具体的な記録内容の説明がもっとあっても良かった。

- 66周年という節目に際し、開局当時の古い映像も見たかった。

- 楽しく賑やかであっという間の2時間だったが、衣装が80年代風に特化していたため、お正月らしい「晴れ着」がなく、お正月感がやや物足りなく感じた。各年代ごとの衣装やアーカイブ映像という工夫も考えられる。

- 「エモい」という言葉が高齢者には伝わりにくいのではないかと。「エモい」の意味や番組概要についてわかりやすい説明が欲しかった。